

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 8 年 3 月 31 日

事業所名 NPO法人こらそん スマイルJr. 職員数 9 回収数 9 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	1	0		
	②	職員の配置数は適切である	5	4	0	0		利用人数10名に対し、7~8名の指導員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	6	1	0		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	7	0	0		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3	0	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	2	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	4	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	0		今年度は、全職員が行動援護や保育現場のリスクマネジメント研修を受講した。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	3		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	0	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	4	0	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	0	1		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	5	0	1		個別課題については、今年度より準備を行い、実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	3	0	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	8	1	0	0		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	0			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	8	0	0	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	5	3	0	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6	2	0	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	7	2	0	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2	0	1		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	0	2		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	5	3	0	1		親の会などと連携し、卒業後 の体制の勉強会を開催して いる。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	4	2	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	2	2	4	1		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	4	2	1	1		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7	2	0	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	6	1	1		
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7	1	0	1		契約時に、説明させていただ いているが、疑問、質問につ いては随時、受付をする。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	3		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	3	0	4	2		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	3	0	1		苦情については、職員間で共有し、対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	1	0		
	③⑤	個人情報に十分注意している	8	1	0	0		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2	0	0		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	5	0	0		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2	0	1		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	1	0		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	0		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	0	0		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	1	1		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	0	0		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 8 年 3 月 31 日

事業所名 NPO法人こらそん スマイルJr. 保護者数(児童数) 25 回収数 20 割合 80 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	14	5	0	1		
	② 職員の配置数や専門性は適切である	12	6	1	1	・職員紹介がないので不安。 ・どのようなスキルの人が働いているかわからない。 ・長年、勤務していた職員が辞めてしまう。	現在、児童指導員、保育士などが都の基準より多く配置されています。従業員の異動については、ご迷惑をおかけしました。人員不足については、職員の役割分担を明確にし、業務フローを見直すなど、職員数が少なくても実施できる体制を整えていきたい。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	9	8	1	2		・活動室には、段差がない。 ・障害物は適宜片付ける。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	17	2	0	1	・ニーズが達成できるようにしてほしい	お子様の特性を理解し、無理のない方法で、達成できるように取り組んでいく。取り組んだ内容等は、連絡帳やメールなどで共有しながら進めていく。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	14	5	0	1	・プログラムの種類が減っている ・長期休みのお出かけをしてほしい ・自由遊びやゲームの時間は控えてほしい	・プログラムの内容については、偏りが少なくなるよう、年間スケジュールを作り対応している。 ・個別の課題などを留意し、取り組んでいただける環境づくりをする。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	10	6	2		
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	3	1	1	・初回利用時のみ	・支援内容、利用者負担等についてのご質問がありましたら、随時お答えできるようにしている。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	15	4	1	0	・送迎時に聞くことができる ・できていない	
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	14	4	2	0	・年に一度では不十分 ・できていない	・個別支援計画のための面談は、2回/年実施をしている。それ以外での相談ご希望については、ご連絡いただければ対応する。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	7	7	2		保護者会は行っていないが、親の会などと連携し、卒業後の体制の勉強会を開催している。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	6	1	0	・半年以上何も無い	・連絡が遅れて申し訳ありませんでした。今後は、速やかに対応するよう善処します。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	14	4	0	2	・管理者がいない ・ことがある	LINEやメール等で、随時、相談を受け付けています。職員配置上、すぐに対応できない場合もあります。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	15	4	0	1		
⑭ 個人情報に十分注意している	16	3	0	1			
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	11	7	1	1		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	11	7	0	2		
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしている	14	4	0	2	・プール復活してほしい ・職員が辞めて楽しみが減った	安全な職員配置が出来次第、復活する予定で考えている。
	⑱ 事業所の支援に満足している	13	4	2	1	・長期休みの開所時間を午前中からにしてほしい ・電車や徒歩通学してほしい ・土曜日の復活 ・振替休日のお迎え ・職員が辞めている	現状、長期期間中の午前中からの開所は難しいが、働く保護者様のニーズやお子様の長期休暇中の規則正しい生活の一端を担っていることについては、今後の課題として、捉えている。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。